

抗インフルエンザウイルス薬の使用状況 (企業提出資料)

中外製薬株式会社提出資料

【1 ページ】

グラクソ・スミスクライン株式会社提出資料

【5 ページ】

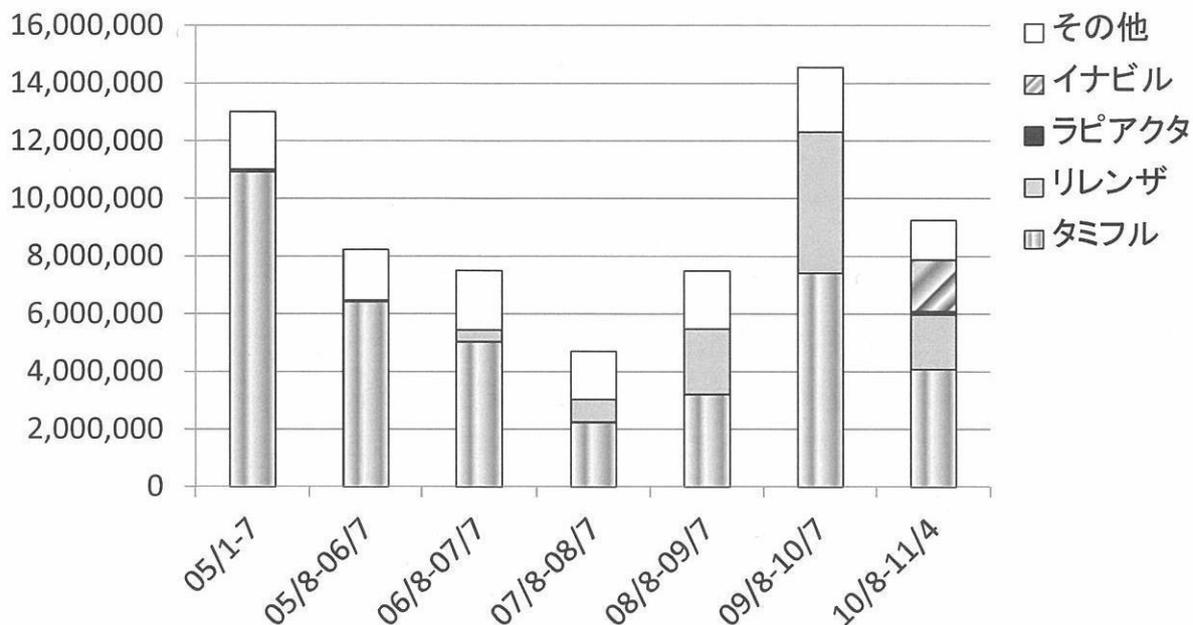
塩野義製薬株式会社提出資料

【6 ページ】

第一三共株式会社提出資料

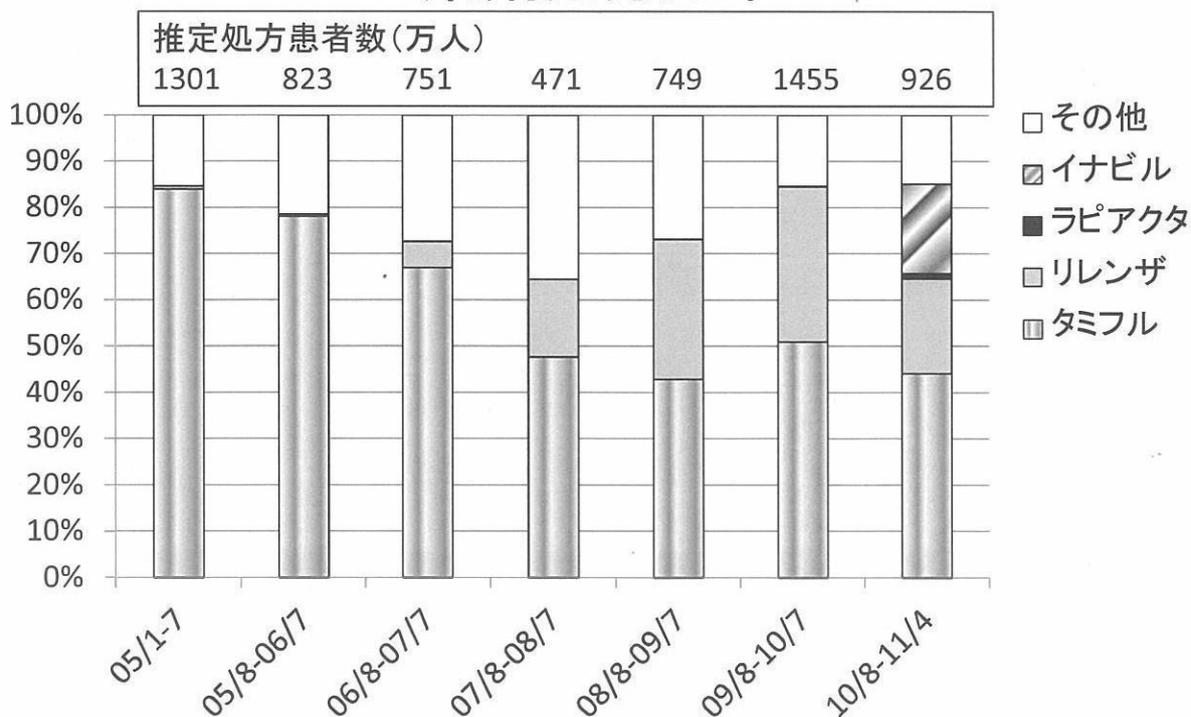
【7 ページ】

インフルエンザ 推定処方患者数



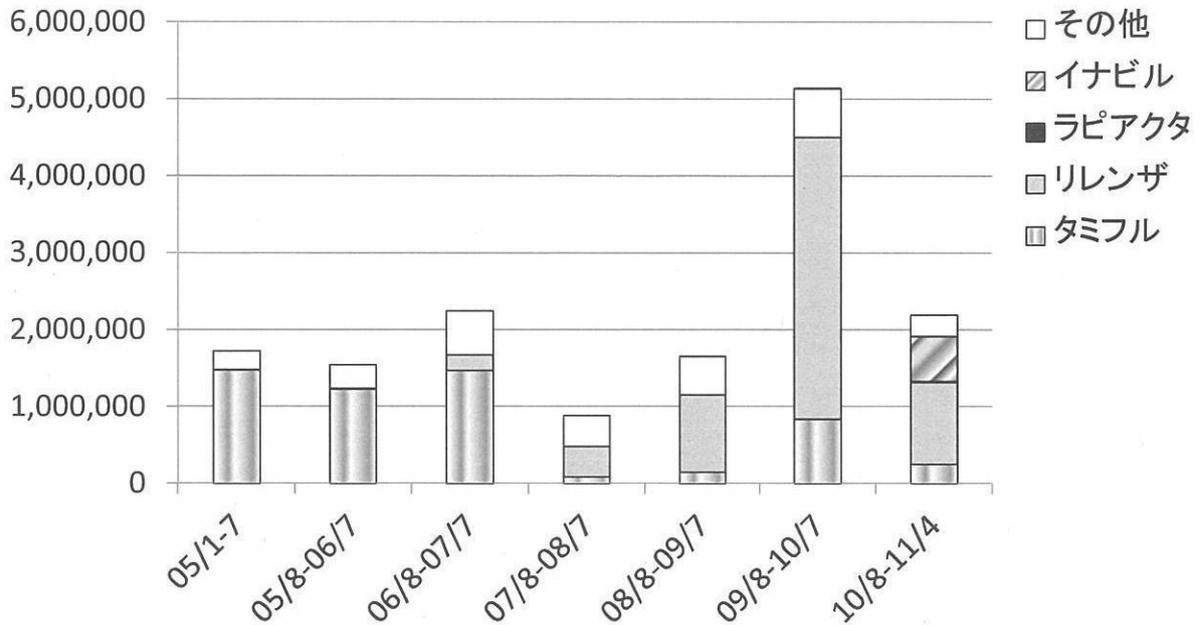
株式会社日本医療データセンターデータベースより算出 ¹

インフルエンザ患者 薬剤処方比率



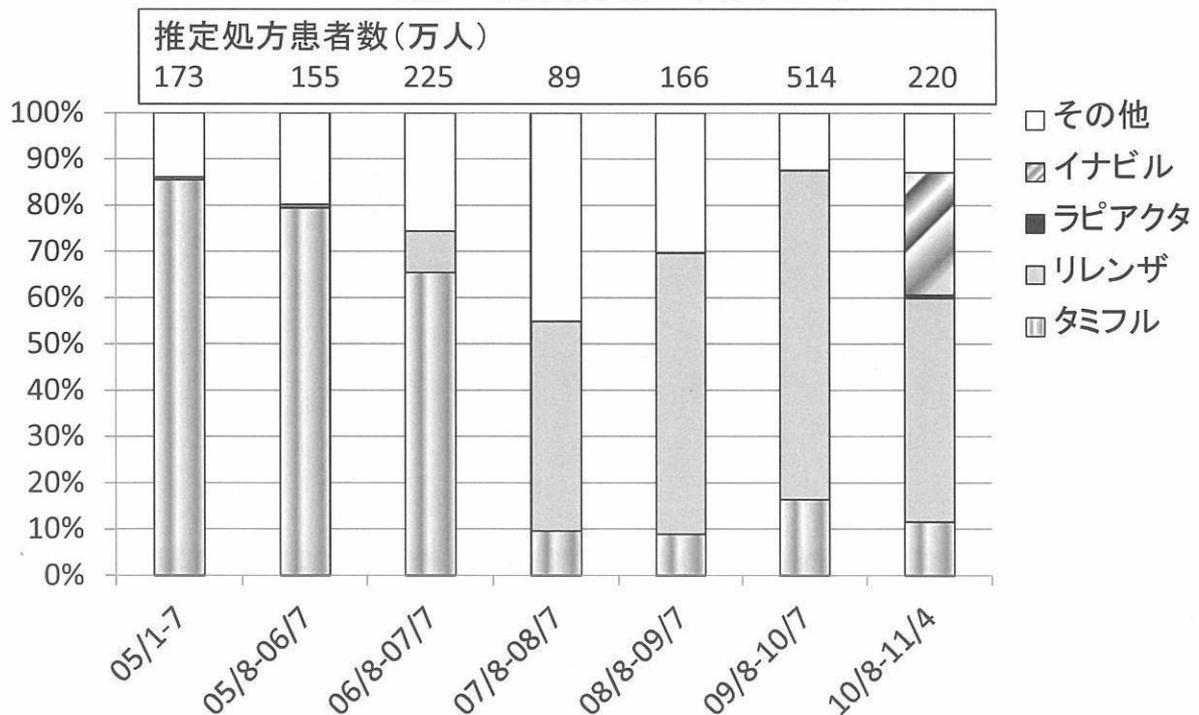
株式会社日本医療データセンターデータベースより算出 ²

インフルエンザ 10歳代推定処方患者数



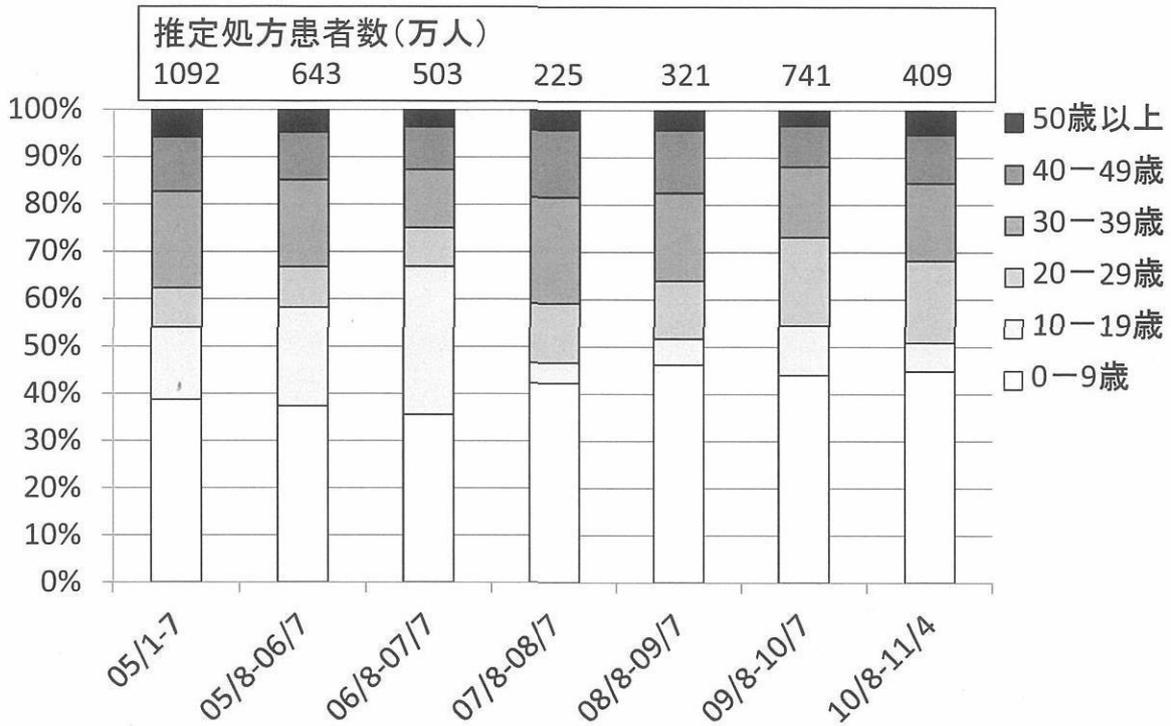
株式会社日本医療データセンターデータベースより算出 ³

インフルエンザ患者 10歳代薬剤処方比率



株式会社日本医療データセンターデータベースより算出 ⁴

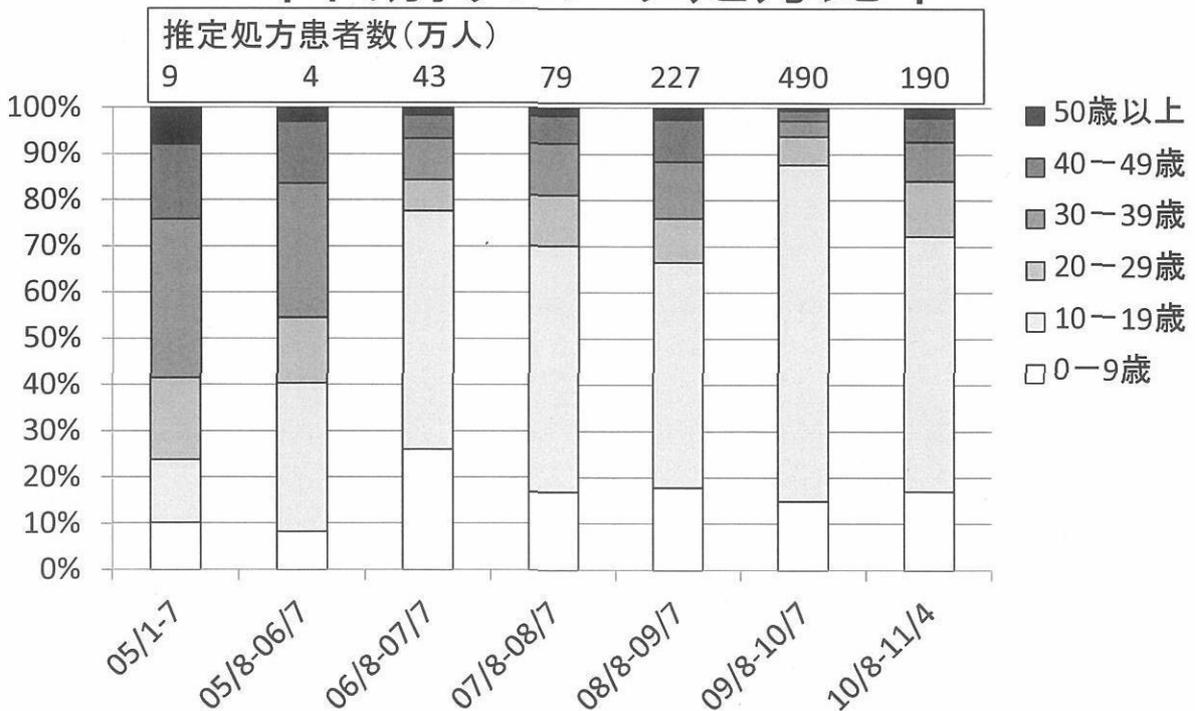
インフルエンザ患者 年代別タミフル処方比率



株式会社日本医療データセンターデータベースより算出

5

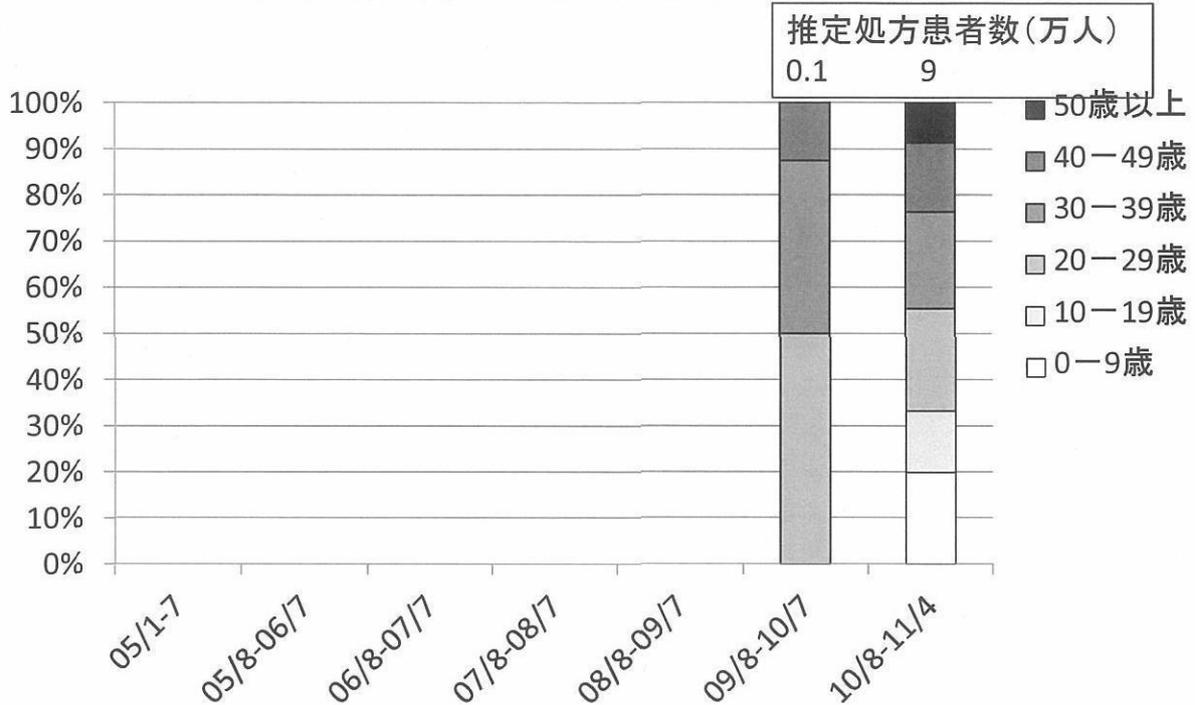
インフルエンザ患者 年代別リレンザ処方比率



株式会社日本医療データセンターデータベースより算出

6

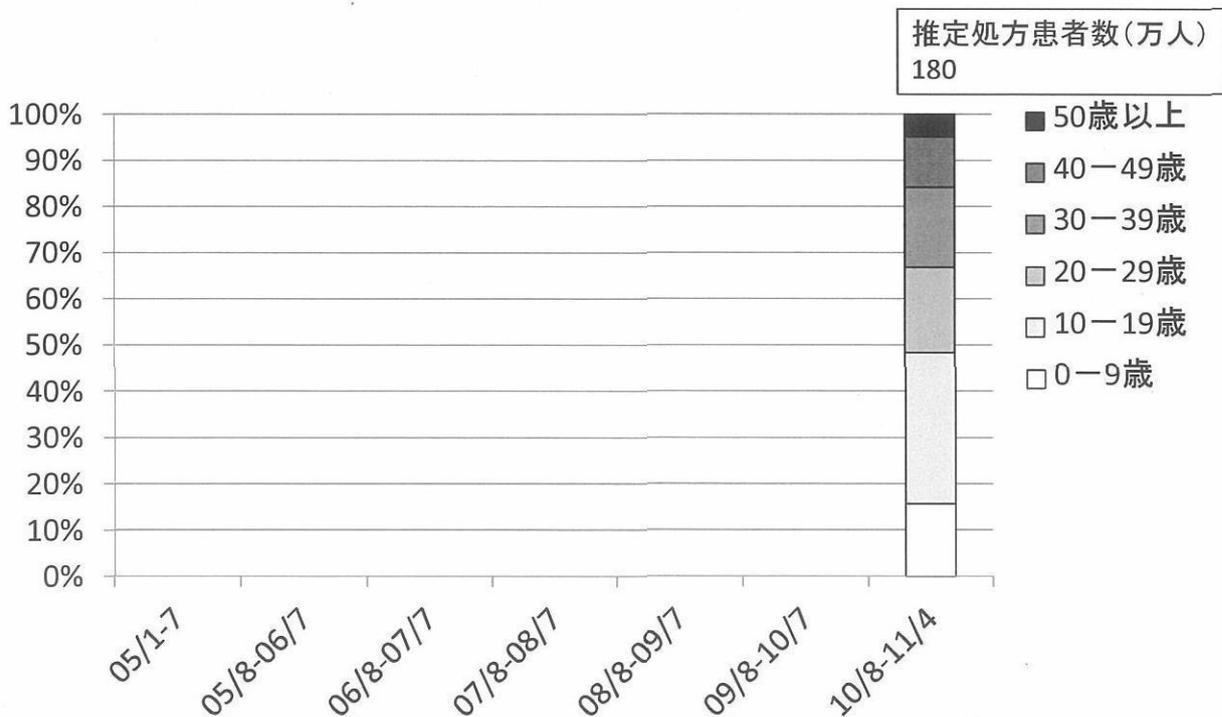
インフルエンザ患者 年代別ラピアクタ処方比率



株式会社日本医療データセンターデータベースより算出

7

インフルエンザ患者 年代別イナビル処方比率

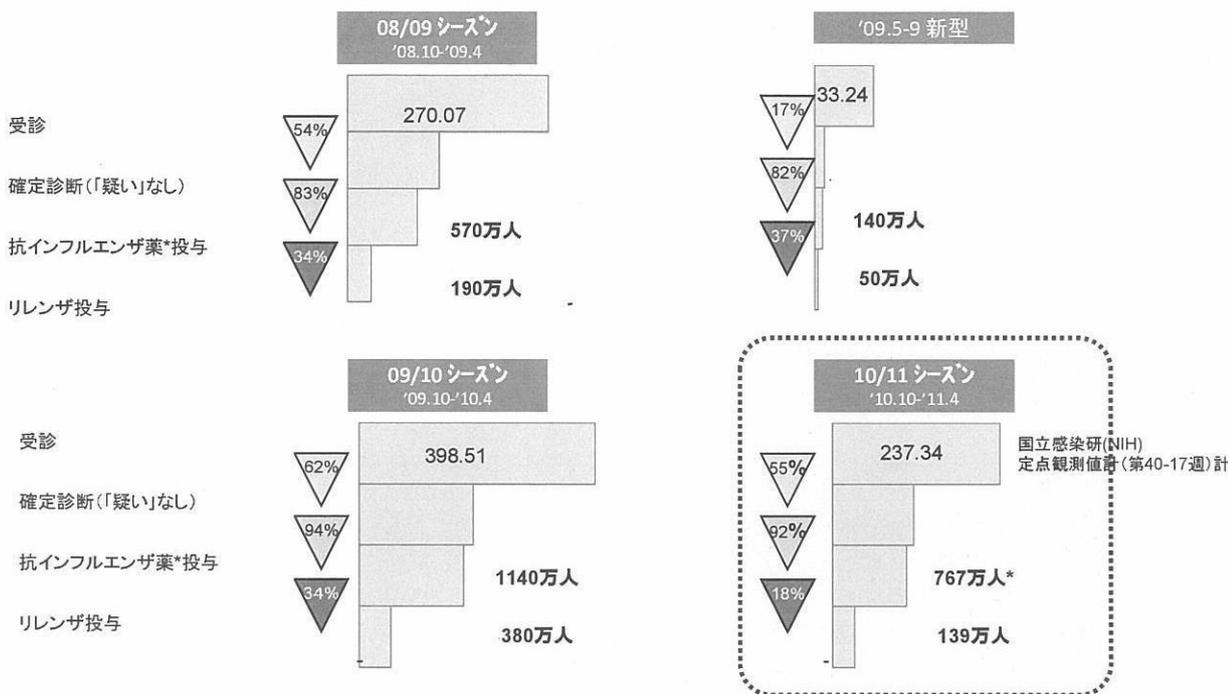


株式会社日本医療データセンターデータベースより算出

8

感染患者報告数と抗インフルエンザ薬、リレンザの処方状況

千人('000pts)

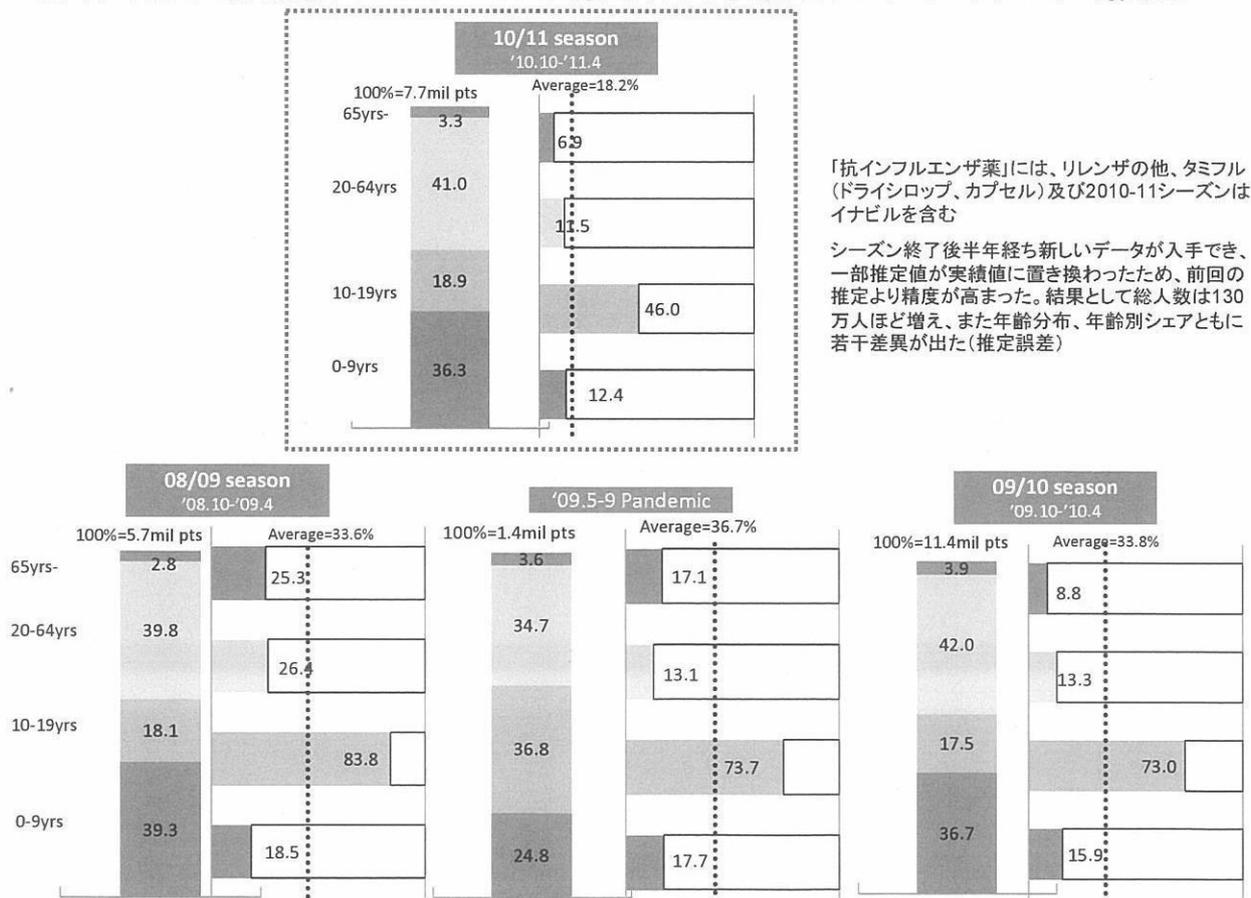


*「抗インフルエンザ薬」にはリレンザの他、タミフル(ドライシロップ、カプセル)及び2010-11シーズンにはイナビルを含む

出典: 国立感染症研究所, JMIRI(株医療情報総合研究所), JMDC(株日本医療データセンター)等のデータより、GSKが各種前提条件の下に推定

©GlaxoSmithKline K.K.

患者年齢区分別抗インフルエンザ薬の処方状況とリレンザのシェア(推定)



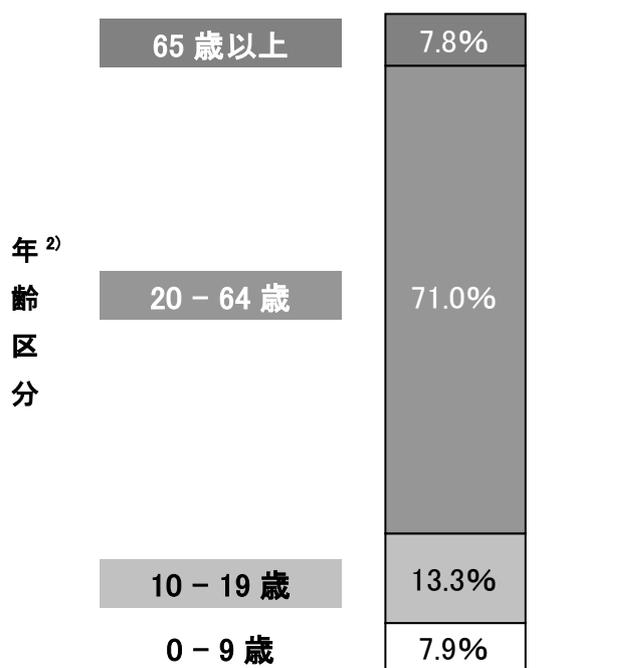
出典: JMIRI(株医療情報総合研究所), JMDC(株日本医療データセンター)等のデータより、GSKが各種前提条件の下に推定

©GlaxoSmithKline K.K.

抗インフルエンザウイルス薬推定使用患者数（患者年齢区分別） 〔ラピアクタ®点滴用〕

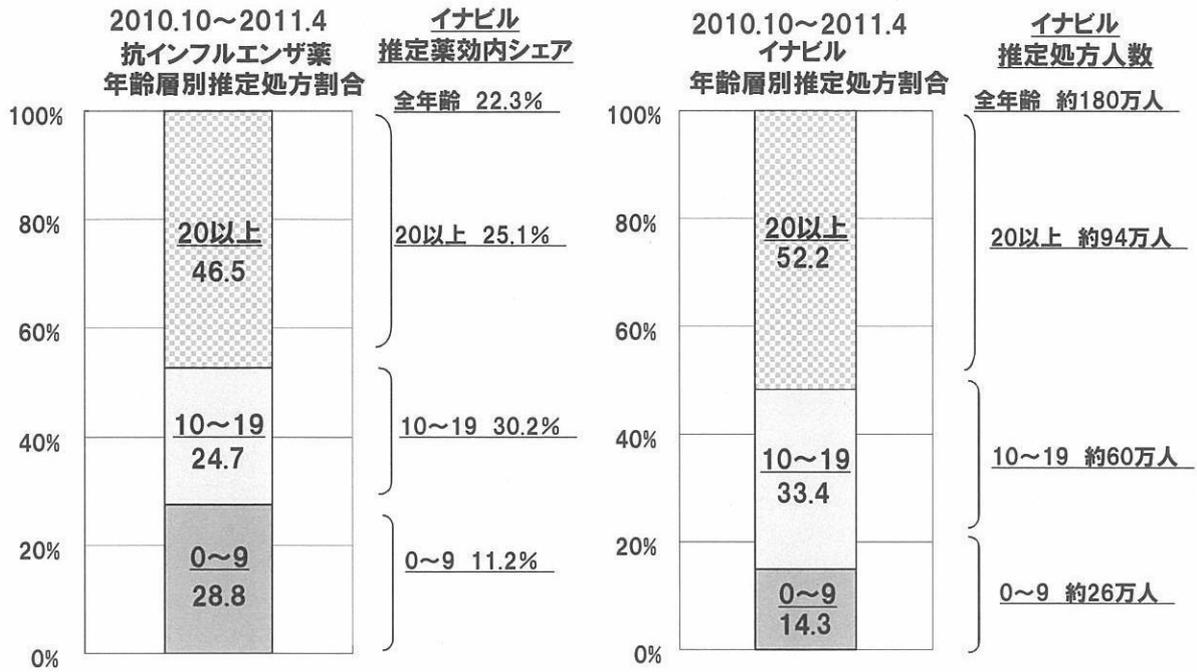
ラピアクタ®点滴用 推定使用患者数

100%＝約 27 万人¹⁾



- 1) 本剤販売開始（平成 22 年 1 月 27 日）から平成 23 年 9 月 30 日までの出荷数量（原体換算量として約 80000 g）を本剤の通常用量（300 mg 単回投与）で除して算出
- 2) 平成 22 年 10 月より実施中の製造販売後調査（使用成績調査，小児に対する特定使用成績調査）の中間データより比率を算出

抗インフルエンザウイルス薬の使用状況とイナビルの推定シェア 【2010年10月～2011年4月の年齢層別】



出典：JMDC((株)日本医療データセンター)のデータより、第一三共が推定